

富士山を世界文化遺産に！



ふじあざみライン(須走口登山道)の紅葉と富士山

News List

- ◎ユネスコへ推薦書(暫定版)を提出しました
- ◎富士山世界遺産センター(仮称)の検討始まる！
- ◎「第一回親子で学ぼう富士山世界文化遺産」を開催しました
- ◎「美しい富士山を未来へつなぐ会」通信

日本政府からユネスコへ 推薦書(暫定版)が提出されました！

静岡・山梨両県は、7月27日に文化庁へ富士山の世界文化遺産登録に係る推薦書原案を提出しました。その後、9月1日の文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会において、「富士山」を世界文化遺産に推薦することが了承され、さらに、9月22日の世界遺産条約関係省庁連絡会議において、推薦書(暫定版)を国連教育科学文化機構(ユネスコ)世界遺産センターへ提出することが決定されました。これを受け、去る9月28日、日本政府から「富士山」の推薦書(暫定版)が提出されました。これにより「富士山」は、平成25年の登録実現に向け、大きく前進しました。

引き続き、文化庁、山梨県、関係市町村等と連携を密にし、来年2月1日までに日本政府がユネスコに提出する推薦書の確定に協力するとともに、平成24年に実施される国際記念物遺跡会議(イコモス)の現地調査等において、富士山の価値や保存管理の取組状況が理解されるよう、適切に対応し平成25年の登録実現に向け、万全を期してまいります。

『富士山』推薦書(暫定版)の内容

1 名称

「富士山」 Fujisan

2 所在地

静岡県・山梨県

3 暫定一覧表記年月

平成19年1月

4 共同推薦省庁

文化庁、環境省、林野庁

5 概要

富士山は、標高3,776mと日本一の高さを誇る独立峰で、荘厳な円錐形の雄姿を持つ成層火山である。

富士山は、古来自然物、特に山岳に対する伝統を持っていた日本人に畏敬の念を抱かせ、日本における様々な宗教・宗派を超えて信仰の対象とされてきた。遙拝・巡礼・登拝の場となったため、山頂、山域及び山麓に登山道や神社・仏教施設などが整備され、同時に山麓に点在する風穴・溶岩樹型・湧水・湖沼等を霊地や巡礼地とする宗教活動も活発化した。

また、周辺の湖沼群や海岸などから展望される富士山の荘厳な形姿は、時代を超えて多くの人々に賞賛され、芸術的な創作活動に対する意欲を掻き立ててきた。特に19世紀前半の葛飾北斎や歌川広重の浮世絵に描かれた富士山の図像は西洋美術のモチーフにも多用され、日本及び日本文化を象徴する記号として海外にも定着している。

6 資産の保護措置

- ・文化財保護法
- ・自然公園法
- ・国有林野の管理経営に関する法律

7 構成資産・構成要素一覧

No.	名称	所在地	9	御師住宅(旧外川家住宅)	富士吉田市
	富士山域	静岡県・山梨県	10	御師住宅(小佐野家住宅)	富士吉田市
1	1-1 山頂の信仰遺跡	静岡県・山梨県	11	山中湖	山中湖村
	1-2 大宮・村山登山道(環富士登山道)	富士宮市	12	河口湖	富士河口湖町
	1-3 須山登山道(現御殿場登山道)	御殿場市	13	忍野八海(出口池)	忍野村
	1-4 須走口登山道	小山町	14	忍野八海(お釜池)	忍野村
	1-5 吉田口登山道	富士市 富士和湖	15	忍野八海(底抜池)	忍野村
	1-6 北口本宮富士浅間神社	富士吉田市	16	忍野八海(銚子池)	忍野村
	1-7 西湖	富士河口湖町	17	忍野八海(湧池)	忍野村
	1-8 精進湖	富士河口湖町	18	忍野八海(濁池)	忍野村
	1-9 本栖湖	身延町 富士河口湖町	19	忍野八海(鏡池)	忍野村
2	富士山本宮浅間大社	富士宮市	20	忍野八海(菖蒲池)	忍野村
3	山宮浅間神社	富士宮市	21	船津胎内樹型	富士河口湖町
4	村山浅間神社	富士宮市	22	吉田胎内樹型	富士吉田市
5	須山浅間神社	裾野市	23	人穴富士講遺跡	富士宮市
6	富士浅間神社(須走浅間神社)	小山町	24	白糸ノ滝	富士宮市
7	河口浅間神社	富士河口湖町	25	三保松原	静岡市
8	富士御室浅間神社	富士河口湖町			

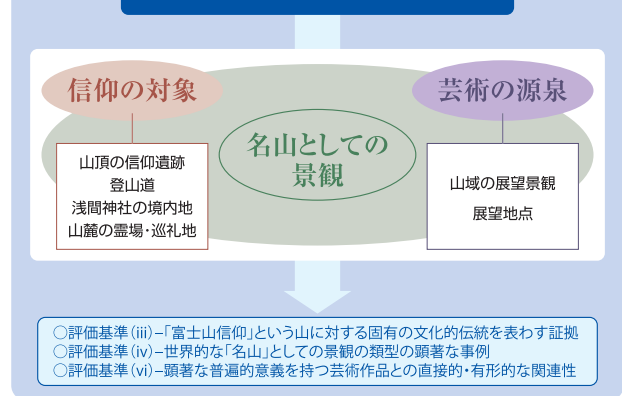
- 山梨・静岡両県にまたがる構成資産 / 構成要素
- 山梨県の構成資産 / 構成要素
- 静岡県の構成資産 / 構成要素

ユネスコへ 推薦書(暫定版)を 提出しました

9月28日、日本政府は、ユネスコ世界遺産センターに、「富士山」と「武家の古都・鎌倉」両資産の推薦書(暫定版)を提出しました。それでは、ユネスコに提出された推薦書(暫定版)の概要について、紹介します。

登録のコンセプト

富士山の顕著な普遍的価値



登録までのスケジュール

山梨・静岡両県が登録推薦書原案を文化庁に提出[平成23年7月]

日本政府が推薦書(暫定版)をユネスコに提出[平成23年9月]

日本政府が登録推薦書をユネスコに提出(平成24年2月1日まで)

「国際記念物遺跡会議」(イコモス)による現地調査等(平成24年夏~秋)

(イコモスはユネスコの諮問機関です)

世界遺産委員会での登録の審議(平成25年夏)

「富士山」の世界文化遺産登録が実現

※()中の年月や時期は、平成23年11月時点での見込みです

富士山世界遺産センター(仮称)の検討始まる!

静岡県では、今年度、富士山の世界文化遺産早期登録に向けた取組を進めるとともに、富士山の包括的な保存管理や自然・歴史・文化等の情報発信機能を担う「富士山世界遺産センター(仮称)」の検討を進めています。

【センターの設置について】

日本のシンボルである富士山を後世に継承していくためには、富士山の適切な保存管理と活用を図ることが重要であることから、昨年度策定した静岡県総合計画において、その拠点となる「富士山世界遺産センター(仮称)」を整備することを位置付けました。

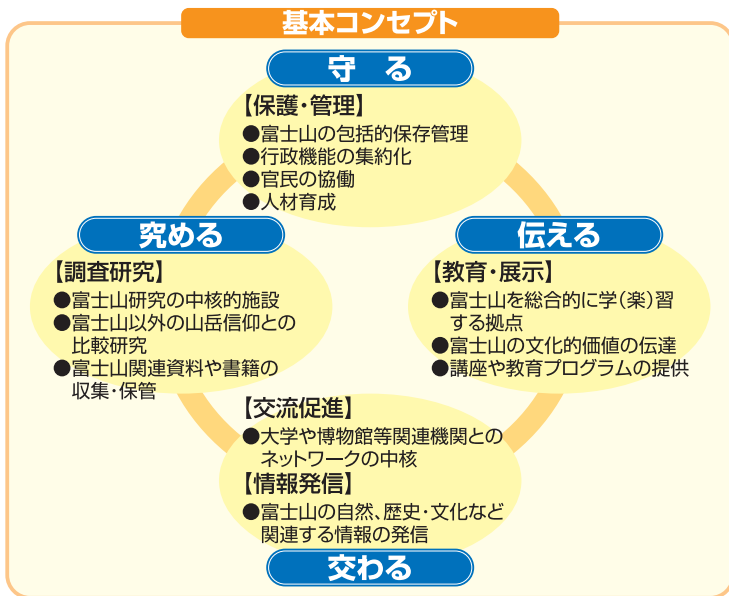
【センター設置の根拠】

世界遺産条約第5条(e)に、「世界遺産条約の締約国は文化遺産及び自然遺産の保護、保存整備の分野における全国的又は地域的な研修センターの設置又は発展を促進し、並びにこれらの分野における学術的調査を奨励すること。」と規定されており、センターは、これに基づき整備を進めていくものです。

【第1回基本構想策定委員会の開催】

県では、センターの基本構想策定に向けて日本を代表する有識者から成る「富士山世界遺産センター(仮称)基本構想

【富士山世界遺産センター基本コンセプト】



策定委員会」を設置し、第1回会議を平成23年10月4日(火)に開催しました。会議では、センターの基本コンセプトについて、委員のそれぞれの立場から、幅広く御意見をいただきました。

【基本コンセプトについて】
センターの基本コンセプトとしては、「守る」、「究める」、「伝える」、「交わる」という四つのキーワードを掲げました。



第1回基本構想策定委員会の模様

まず、「守る」については、富士山を世界文化遺産として保護管理する拠点として、富士山に係る行政機能の集約やボランティア等の活動拠点を提供するなど、官民の協働を推進すること、また、保護管理に関わる人材育成を進めることを想定しています。

「究める」については、富士山の保護管理に繋がる研究や、富士山以外の山岳信仰との比較研究等を進め、富士山研究の中核施設となること、また、富士山関連資料や書籍の収集・保管をする拠点となることを想定しています。

「伝える」については、富士山を総合的に学(楽)習する拠点として、富士山の文化的価値を伝達する展示や、来訪者に対して富士山に関する講座や教育プログラム等を提供することを想定しています。

「交わる」については、富士山の自然・歴史・文化等の情報提供を行うなど、来訪者のニーズに対応する拠点や、大学や博物館、図書館等、富士山研究に関連する組織や機関とのネットワークの中核となることを想定しています。今後は、基本構想策定委員会の委員からいただいた意見や地元の要望等を伺いながら、本年度中に基本構想を取りまとめ、世界遺産センターを整備していきます。

「第1回親子で学ぼう 富士山世界文化遺産」を開催しました

富士山の構成資産や周辺施設を見学しながら、富士山や世界遺産について学ぶ「親子で学ぼう富士山世界文化遺産」の第1回目を10月16日に実施しました。今回は、「富士山と信仰」をテーマとして、17組42人の親子がバスに乗って、富士山本宮浅間大社や村山浅間神社など4か所を見学しました。

この日は曇一つない晴天に恵まれ、富士山の雄大な姿を間近で見ることができました。「初めて近くで富士山を見ることができてうれしかったです。とても大きく見えたのでびっくりしました。」と参加した小学生が感想を述べてくれました。

富士山本宮浅間大社では、同大社権禰直の鈴木雅史さんが「絹本著色富士曼荼羅図」を使って富士山信仰について解説し、参加者は興味深そうに図に見入っていました。また、手水場での清め方や参拝の仕方などの説明を受けた後、実際に体験しました。

参加者からは「富士山は日本の宝です。ぜひ世界遺産に登録されるよう応援しています。」などの声が寄せられました。



富士山本宮浅間大社では、富士山の信仰について学習しました。

せられました。秋晴れの日、親子が一緒に楽しみながら、世界文化遺産登録に向けた取組について理解を深めていただくことができました。第2回目は来年2月に「富士山と芸術」をテーマとして実施します。東海道広重美術館で富士山を題材とした浮世絵を鑑賞し、三保松原や日本平から見た富士山の眺望を楽しみます。参加申込方法については、県民だよりにてお知らせします。御参加をお待ちしています。

「美しい富士山を未来へつなぐ会」通信

メッセージが10万件を突破しました

富士山の世界文化遺産登録への賛同と富士山を未来へ引き継いでいくことを目的に、民間団体の「美しい富士山を未来へつなぐ会」が募集している「WE LOVE FUJISAN 3776メッセージ」の総数が、9月23日について10万件を突破しました。つなぐ会を代表して（社）静岡県商工会議所連合会の杉雅俊専務理事から、10万件目を記入された磐田市在住の辻さんに記念品が贈呈されました。辻さんは、「富士山の見える景色が大好きです」とメッセージを寄せてくれました。

今後もつなぐ会では、学園祭や新東名等のイベントなどに出向き、メッセージの募集活動を展開していきますので、引き続き皆様の御協力をお願いいたします。

富士山を世界文化遺産に!
WE LOVE FUJISAN
(さんなんなんなん)
3776メッセージ

募集中



ふじっぴーも駆けつけ、10万件突破をお祝いました。
(富士山静岡空港ターミナルビル2階「富士山回廊」にて)

「WE LOVE FUJISAN 3776メッセージ」募集中!!

↓HPからも入力できます!

詳しくは

↑ **メッセージ送信用紙** [必要事項を記入の上、そのままFAXしてください。] ↑

FAX 054-255-4480

お名前	
住所	都道府県 市町村

個人情報、「美しい富士山を未来へつなぐ会」の目的のために使用し、他の目的には使用しません。

メッセージご記入欄

(記入例) ●富士山の美しさを永遠に… ●富士山の世界文化遺産登録を応援しています。

発行 静岡県文化・観光部 文化学術局 世界遺産推進課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 <http://fujisan-3776.jp>
TEL.054-221-3746 FAX.054-221-2980 e-mail sekai@pref.shizuoka.lg.jp